

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法		講義	
科 目 名	基礎薬理学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30	(2)	時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	前期	教室名			
担 当 教 員	小畑俊男	実務経験と その関連資格						
《授業科目における学習内容》								
販売専攻、分析専攻を問わず、薬がどのように効果を出すか、或いは、どのように副作用が発生するのかについて理解することが必要です。これらの知識を身に付けることで、将来の職場で活躍することができます。								
《成績評価の方法と基準》								
定期試験70% 出席点 20% 平常点 10%								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進③ 医学書院								
《授業外における学習方法》								
テキストについては自宅でもしっかりと読み込んでおいてください。予習・復習は必ずしてください。薬に関するニュースを見たときは、薬理的な視点から考えるようにしてください。								
《履修に当たっての留意点》								
初めて目にする用語がたくさん出てきますが、きちんと講義ノートを作ってください。								
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容			
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬理学総論(1)。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	講義内容の見直し			
		各コマにおける授業予定	薬理学とは何か。薬物と医薬の定義について理解する。					
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	薬理学総論(2)。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	講義内容の見直し			
		各コマにおける授業予定	薬物効果に影響を及ぼす要因について理解する。					
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	抗感染症、抗がん薬	医薬品登録販売者試験対策テキスト	講義内容の見直し			
		各コマにおける授業予定	感染症治療に関する基礎事項について理解する。及びがん治療に関する基礎事項について理解する。					
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫治療薬、抗アレルギー薬、抗炎症薬	医薬品登録販売者試験対策テキスト	講義内容の見直し			
		各コマにおける授業予定	免疫のしくみ、アレルギー反応、生体防御機能としての炎症反応について理解する。					
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経系作用薬	医薬品登録販売者試験対策テキスト	講義内容の見直し			
		各コマにおける授業予定	自律神経系作用薬、筋弛緩薬、局所麻酔薬について理解する。					

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経系作用薬(1)	医薬品登録販売者試験対策テキスト	講義内容の見直し
	各コマにおける授業予定	全身麻酔薬、催眠薬、抗不安薬について理解する。			
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経系作用薬(2)	医薬品登録販売者試験対策テキスト	講義内容の見直し
	各コマにおける授業予定	抗精神病薬、抗うつ薬、抗てんかん薬及び麻酔性鎮痛薬について理解する。			
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓・血管系作用薬(1)	医薬品登録販売者試験対策テキスト	講義内容の見直し
	各コマにおける授業予定	心臓・血管系作用薬の役割について理解する。			
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	心臓・血管系作用薬(2)	医薬品登録販売者試験対策テキスト	講義内容の見直し
	各コマにおける授業予定	抗不性脈薬、利尿薬について理解する。			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	血液・造血作用薬	医薬品登録販売者試験対策テキスト	講義内容の見直し
	各コマにおける授業予定	血液系に作用する薬物、貧血治療薬について理解する。			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器・消化器・生殖器系	医薬品登録販売者試験対策テキスト	講義内容の見直し
	各コマにおける授業予定	呼吸器系に作用する薬物及び消化器系に作用する薬物について理解する。			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	ホルモンとビタミン	医薬品登録販売者試験対策テキスト	講義内容の見直し
	各コマにおける授業予定	ホルモンとビタミンとは何かについて理解する。治療薬としてのビタミンについて理解する。			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	皮膚科・眼科用薬・救急用薬	医薬品登録販売者試験対策テキスト	講義内容の見直し
	各コマにおける授業予定	皮膚科に使用する薬物及び眼科外用薬について理解する。救急蘇生時に用いられる薬物について理解する。			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	漢方薬、消毒薬、輸液・輸血在	医薬品登録販売者試験対策テキスト	講義内容の見直し
	各コマにおける授業予定	西洋医学と東洋医学の考え方の違いについて理解する。輸液および輸血とはなにかについて理解する。			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	演習問題を通してこれまでに習った薬についての理解を深め問題を解けるようになる。	医薬品登録販売者試験対策テキスト	講義内容の見直し
	各コマにおける授業予定	まとめ			